

事業シート（概要説明書）

事業名	梅の里管理運営事業		担当部名	産業経済部 地域振興部		
			担当課名	農業振興課 久米支所		
事業年度	開始年度：平成6年度		終了年度：未定			
総合計画での位置付け	産業振興と雇用の創出 農業の振興 食の安心・安全と高付加価値型農業の推進					
根拠法令等	なし					
実施方法	直接実施	委託	指定管理	補助金	その他	
	実施主体・委託先等		津山市神代梅の里管理組合			
事業概要	目的 (何のために)	梅の里加工施設等の維持管理並びに梅の里公園内で採れる梅の実を原料とした加工品を生産し地域特産品として販売することで、地域の特性を活かした、安全で高品質な農産加工品の生産振興を図るとともに6次産業化への取り組みを推進する。また、梅の開花時期にあわせ、「梅まつり」を実施することで、観光客の集客を図り、地域における観光・産業の活性化を図る。				
	対象 (誰・何を対象に)	管理業務：梅の里加工施設、展示施設及び施設周辺等 加工業務：梅の里公園内及び地域で生産される農産物を用いた加工品の製造販売。				
	事業内容 (手段、手法など)	(1)施設の維持管理及び運営業務 (2)施設周辺の保守点検・清掃管理作業 (3)梅の果実等を活用した特産品の製造販売、新商品の開発、販路の開拓等				
	事業の必要性	地元産農産物の生産振興と6次産業化への取り組みを推進するためには、地域の資源を活かした商品(地域特産品)の開発と販路拡大等による販売促進が重要である。当施設においては、地元産の安全かつ高品質な農産物を原料とした加工品の開発及び製造販売を行っており、地域農業の振興を図るため、一層の取り組みが求められている。				
		(円)	H20決算	H21決算	H22決算	H23予算
事業費	報酬(嘱託・臨時職員含む)					
	賃金					
	報償費					
	旅費					
	需用費					
	役務費					
	委託料	3,503,000	3,503,000	3,403,000	3,300,000	
	負担金、補助及び交付金					
	扶助費					
	その他(使用料、工事費等)					
合計	3,503,000	3,503,000	3,403,000	3,300,000		
事業費の財源内訳	国・県からの補助金等					
	地方債					
	その他(広告収入等)					
	一般財源	3,503,000	3,503,000	3,403,000	3,300,000	
合計	3,503,000	3,503,000	3,403,000	3,300,000		
人件費 (正規職員)	従事者数(平均給与750万円換算)	0.01	0.01	0.01	0.01	
	概算人件費	75,000	75,000	75,000	75,000	
総事業費(+)		3,578,000	3,578,000	3,478,000	3,375,000	

事業シート（概要説明書）

事業シート（概要説明書）					
事業目的達成のための活動指標	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	加工品等販売額	円	4,194,000	3,836,000	3,800,000
	梅まつり商品販売額等	円	2,985,000	2,899,000	3,000,000
	年間利用者数	人	約50,000	約50,000	約50,000
単位当りコスト					
<p>目指す成果 (今後どのようにしたいか)</p> <p>引き続き地域特産品の開発と加工販売に取り組むとともに、梅産地としての地域イメージの一層の定着と特産品の周知を図るため、「梅まつり」等の各種イベントにおける宣伝販売を通じて評価の向上を図り、販路の拡大に努める。</p>					
事業の自己評価	事業目的の達成状況	<p>梅の里加工施設・展示館を始めとする施設の維持管理は適切に行われており、生産される加工品も販売先等において好評を得ている。また、「梅まつり」は、イベントの2日間で約15,000人の来場者があり、来場者に対する地域特産品の宣伝効果も大きく、事業目的を達しているものと考えられる。</p>			
	今後の事業の方向性 (課題・改善計画等)	<p>引き続き地域特産品の加工販売と新商品の開発に取り組むが、加工品の製造に用いる設備・機械等の多くは、施設整備時(平成6年度設置)であり、耐用年数も既に経過しており、年次計画に基づく機器更新又は、故障の発生防止(延命化)のための保守修繕が必要となっている。</p>			
自己評価		<p>拡大・充実 現状のまま継続 効率化又は改善が必要 統合・縮小 廃止</p> <p>目的に沿った運営が図られており、事業目的達成のため今後も継続して取り組む必要がある。</p>			
特記事項 (事業の沿革等) (他都市との比較等)		<p>・県知事と地元住民の懇談会において、旧久米町の町木である梅の木の植栽とその実を使用した特産品づくりについての提案があり、「神代梅の里公園」の整備が図られた。また、地元住民により「神代梅の里管理組合」が発足し、平成6年度から加工施設等の管理業務を開始した。</p> <p>・地域特産品等の販売機会である「梅まつり」は、地元町内会、商工会、梅の里管理組合等で構成する実行委員会が開催運営する地域協働型のイベントとして定着し、例年、県内外から多数の観光客を集客している。</p>			